

KANAGAWA HOHYUH CLUB

# 神奈川放友会 Newsletter



Vol. 6 No.2 Jul. 2013  
第22号

## 神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地  
ストーク伊勢佐木1番館 504号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武  
発行日 2013年4月1日

## 放談会を活かそう

会員以外の方でも歓迎します

会長 長谷川 武

ずばり、単刀直入で本論を述べます。

とにかく「放談会に参加して語り合おう」と言うことです。

ご承知の如く、本会は神放技の外郭組織と言っても過言ではありませんが、6年前になるが当時の神放技執行部の企画発案を受けて、平成19年11月17日に神放技記念事業の折りに、会場の別室で神放技の肝煎りで「神奈川放友会設立総会」が開催され発足しております。

神放技会員の還暦を過ぎた者とOBを中心に、OB同好会的組織を目的に明確な会則を設けて、会の目的を掲げて承認されています。(現役の会員も多いので“OB会”とは言わない、「神奈川放友会」です。)

開設以来、速くも6年目を迎えておりますが、執行部リーダーとしては「会員の開放的な放談会が不発に過ぎてきた」と大きな心痛を覚えているのです。

ご承知の如く、本会は会費無しの気楽な同好会です。フレキシブルな運営の中で、執行役員のボランティア精神に救われながら、放友会は5年間を経過して来たのだと理解しております。しかし、気安く集まり「過去・現在・未来」を語り合う当初の目的が達成しているとは評価しておりません。

もっと気安く放談できる機会が得られないものかと思案するのです。

放友会は、いったい何をやって来たのか? と問われると、次の5項目ほどの実績です。

これまでの本会の実績として残ったものは、その一は、年4回発行の機関誌である「神奈川放友会 Newsletter」が滞ることなく発行され、放友会活動の要となったこと。その二は、背伸びしながらも頑張った自費出版を2度成功させたこと。その三は、イベント企画として工場見学や名所散策及び競馬観戦です。その四は、総会と放談会の開催があり、その五に、県議会議員選挙の支援活動を挙げることができます。

しかし、特に、放談会の盛り上がりには執行部は苦慮しているのです。

その要因には時間設定や準備不足などが考えられますので、今年は時間延長をしてゆとりの中で語り合おうと考慮しております。

是非、参加して頂き、大いに開襟されて自由な意見交換が出来たら、嬉しいのではないのかと思うので、第一線を退いた身であっても、仲間意識をもって放射線技師として生きてきた「絆」を保ちことが出来るのではないのか、高齢化する社会の中で「集いの場を提供」したいのです。会員登録していない方でも大いに歓迎します。

また、現役では出来なかったが、退職後に学んだ知識を若手の後輩に、いや、自分が生きてきた放射線技師の世界を、社会に理解させる些細な力になればと願いたいものです。

放友会の集いの場を活かして、大いに後輩への見本となるような行動を築き、県放射線技師会への支援がとれる組織に成長したいものです。

まずは集い、直接顔を見合わせて、四方山話の意見交換をしようではありませんか。

とにかくも、気楽な肩の凝らない会であることは事実です。語り合って、会の活動を支援して下さい。

但し、成熟した大人の集いですので、「何か夢のある目的をもって、存在価値のある会」を築けるようなご意見をいただきたいし、会員に役立つための活動を展開することを確認し合おうではありませんか。

是非とも多くの方が参加され、盛り上げて頂きますようお願い致します。

放談会のテーマ : 「神奈川放友会の活動と考える」

— 気楽にみんなで語り合おう —

時間を拡大して 愉しく寛ぎながら 絆を生む至福のひとときを創作しましょう



## 平成 25 年度 神奈川放友会総会資料

平成 25 年 4 月 7 日(日)総会開催にあたり、「平成 25 年神奈川放友会総会」報告資料」を掲載いたします。

本会の活動は 5 年を経過しました。

平成 25 年度の総会にあたり、平成 24・25 年度の会務状況を報告して総会資料といたします。

- [内容] ① 平成 24 年度事業及び会計報告総括  
 ② 平成 24 年度 監査報告  
 ③ 平成 25 年度事業計画及び会計計画 (案)

### I 平成 24 年度事業及び会計報告総括

神奈川放友会会則第 3・4 条に記されている目的・事業は、①会員の情報交換 ②神放技への協力、意見具申 ③21 世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動への支援 に集約されますが、それに沿って執行部一同精進して来ました。

ご承知の如く「会費無しの運営」ですので、ムリはせず焦らず、基本ながら“役員の熱意と会員の協力”を得て、「神奈川放友会 Newsletter」及び出版事業を手掛けるなど、会の活動を実行して来ました。

その活動状況を報告いたします。

- 1) 会員数 129 名 (男: 125 名 女: 4 名)  
 2013 年 3 月 9 日 現在

#### 2) 会 議

- ① 定例理事会 6 回  
 平成 24 年度 6/9 8/11 9/29 10/01 12/15 2/9  
 ② 総会 定期総会 1 回 (平成 24 年 4 月 15 日)

#### 3) 事業活動

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 年 4 回  
 第 18 号 Vol.5 No.2 2012.04.01 A4 版 8p 150 部  
 第 19 号 Vol.5 No.3 2012.07.15 A4 版 8p 150 部  
 第 20 号 Vol.5 No.4 2012.10.15 A4 版 8p 150 部  
 第 21 号 Vol.6 No.1 2012.01.15 A4 版 8p 150 部  
 (第 21 号のみオールカラー印刷)  
 ② 平成 24 年度神奈川放友会「放談会」2012/04/15  
 ③ 中山競馬観戦 9 月 9 日 参加者 13 名  
 ④ 史跡名所金沢八景と八景島を楽しもう  
 平成 24 年 10 月 28 日(日) 参加者 4 名  
 ⑤ 神奈川県放射線技師会への協力  
 意見交換及び県技師会への具申  
 ⑥ 食と放射線—放射線と共生するための「副読本」の出版(2012/09/15) 発行部数 500 冊 (完売)  
 ⑦ 「神奈川放友会」の紹介及び会員登録の推進活動  
 地域放射線技師会・放射線技術講習会・新春情報交換会等での役員参加による PR  
 ⑧ 国政選挙での候補者支援活動  
 ⑨ 茅ヶ崎市長へ「食と放射線」を贈呈(2012/10/17)

### 4) 会計報告

#### 平成 24 年度会計報告

収 入		予算額	決算額	増 減
収 入 の 部	購読料	70,000	43,000	-27,000
	雑収入(寄付金)	22,000	26,956	4,956
	(事業収入)	0	137,334	137,334
	前年度繰越金	94,939	94,939	0
合 計		186,939	302,229	115,290
支 出		予算額	決算額	不用額
支 出 の 部	Newsletter 発行費	60,000	19,202	40,798
	送 送 費	30,000	31,290	-1,290
	封筒等発送諸費	30,000	44,974	-14,974
	諸経費	20,000	58,470	-38,470
	予備費	46,939	0	46,939
	合 計	186,939	153,936	33,003

収入決算増 115,290 円 支出不用額 33,003 円  
 合 計 148,293 円 次年度繰越金

### 5) 役 員

会 長(渉外) 長谷川 武  
 副会長(総務) 橋口 邦紘  
 監 事 草柳 伸彦  
 理事(渉外) 早瀬 武雄 理事(総務) 村松 康久  
 理事(企画) 小松崎真一 理事(企画) 石渡 良徳  
 理事(企画) 奥山 清貴(辞任) 齋藤 節  
 理事(編集) 櫻田 晃 理事(編集) 小嶋 昌光  
 相談役 萩原 明 相談役 柳生 博

### II 平成 24 年度 監査報告

監事 草柳 伸彦 ㊟

神奈川放友会会則第 11 条により平成 25 年 3 月 9 日に職務を実施したので報告する。

#### 1. 会計監査

会費無料の運営なので会計監査の必要性を認めにくい現状であるが、実質郵送料である購読料をうまく使い、技師会の支援や会員からの寄付金及び事業収益を合わせて、地道に運営されている。

特に、年度後半に出版事業が会の大きな活動になって、事業収益が得られた効果に敬意を称する。しかしながら役員に頼る負担の限度もあるので、財源確保の検討をする必要性を認める。

#### 2. 会務監査

Newsletter 発行とイベント見学会企画及び「食と放射線」の出版企画を主体に、順調に行われているが、放談会については、開催方法等に再考を望みたい。



会員登録 132 名を記録しているが、放友会の発展のために会員登録の促進に努力してほしい。また、イベント参加者を増やす努力がほしい。

### 3. 補足

- ①会員の自費出版方式で本会の企画・編集・出版発行を成功させたが、在庫処分にも努力して欲しい。
- ②本会 2 度目の出版事業「食と放射線」は、大成功である。本会の目的・事業を実行し、更に経営を支えている。大いに評価できる。

### Ⅲ 平成 25 年度 事業及び会計(案)

6 年目を迎えた放友会はこれまで通り「放友会の仲間作り」を基本とします。会の発展は先ずは会員数の増加だと理解し促進に努力をしたい。

地域放射線技師連絡協議会との連携を模索し、本会との共同事業などを深めつつ、入会促進策を進めたい。

また、本会の存在や活動の評価は、機関誌「神奈川放友会 Newsletter」の発行及びその内容により評価されますので、より充実した Newsletter 発行を心掛けたい。

今年度の事業計画は、次の目標を置いて活動します。

- ① 「神奈川放友会 Newsletter」の発行 (4 回/年)
- ② 施設見学・小旅行・懇談会などの開催
- ③ 放談会の開催
- ④ 会員入会登録の促進
- ⑤ 神奈川県放射線技師会との意見交換
- ⑥ 「クリニック等における放射線業務の支援」を考える活動を県技師会に具申したい
- ⑦ 「食と放射線を考える会」への支援
- ⑧ 議員 (市県国) 選挙への支援

#### 平成 25 年度 予算案

	収入	予算額	前年度予算	増減
収入の部	購読料 (500 円×140 名)	70,000	70,000	0
	雑収入 (寄付金等)	10,000	22,000	-12,000
	前年度繰越金	148,293	94,939	53,354
	合計	228,293	186,939	41,354
	支出	予算額	前年度予算	増減
支出の部	Newsletter 印刷費	18,600	19,200	400
	発送費 (80×140×4)	44,800	31,290	12,510
	封筒等発送諸費	50,000	44,974	5,026
	諸経費	20,000	20,000	0
	予備費	94,893	71,475	23,418
合計	228,293	186,939	51,354	

#### 神奈川放友会会則一部変更の提案

1. 会則第 3 章第 9 条 (役員) に、第 3 項を追加し『理事会の推薦により「相談役」を置くことができる。』を追加する。
2. 第 17 条 (総会) に、「総会は会員の過半数により成立し」を追加する。
3. 第 25 条 (会費) に、「購読料」を追加する。

### Ⅳ 平成 25・26 年度役員選出

神奈川放友会「会則第 3 章第 9 条による役員」を平成 25・26 年度任期として、第 10 条の定めにより選出することにします。

選出役員 理事 : 5 名以上 10 名以内

監事 : 2 名

理事・監事の候補者

理事 長谷川 武・橋口 邦紘・早瀬 武雄

村松 康久・小松崎真一・櫻田 晃

小嶋 昌光・齋藤 節

監事 草柳 伸彦・石渡 良徳

以上を、平成 25 年度神奈川放友会総会の「総会資料」として報告いたします。

最後に会員の皆様、万障繰り合わせてのご参加をお待ちしております。

平成 25 年 3 月 9 日

会長 長谷川 武

## 神奈川放友会 Newsletter

### 投稿のお願い

Newsletter は会員への情報提供を目的に、会の全力を挙げて頑張っておりますので、各会員からの忌憚のない投稿原稿を期待しております。

特に、堅苦しい規定はありませんので、下記の内容をご理解の上投稿して下さい。

発行日 年間 4 回 (1 月・4 月・7 月・10 月)

ページ数 A4 版 8~12 ページ

ページ設定 書式: 原則は横書き 2 列 (縦書きも可)  
用紙 A4 (210×297mm)  
文字数と桁数 横文字 52 字×52 桁  
(10.5 ポ) ヘッター: 10mm・フッター: 10mm

#### 投稿の区別

- 1) 論説 解説 主張 資料 コラム等
- 2) 文化関連 (趣味・旅行・俳句・短歌・川柳 等)
- 3) 図書 音楽 絵画 写真 等
- 4) 人物・職場紹介 求職・求人紹介
- 5) その他 (区分を問いません)

原稿は、原則は CD 又は E-メールでの投稿をお願いします。尚、ペーパーにても結構です。

気楽にご投稿下さい。(手書きでも可能です)

#### [原稿の送り先]

神奈川放友会事務局

〒231-0033 横浜市中区長者町 4-9

ストーク伊勢佐木 1 番館 501 号

(社) 神奈川県放射線技師会事務局内

tel. 045 681 7573

fax. 045 681 7578



## 重粒子線治療の開始に向けた専門家の公開講演会

長谷川 武

神奈川県立がんセンターでは、新がんセンターの敷地内に重粒子線治療施設（愛称「i-ROCK（アイロック）」）を整備し、平成27年12月の治療開始を目指しております。

治療開始に向けて、放射線がん治療の一つである「重粒子線治療」の特徴や効果を一般県民の方々に伝えるために、公益財団法人医用原子力技術研究振興財団と神奈川県立がんセンターが共催し、重粒子線治療だけでなく、がん検診と画像診断や放射線によるがん治療、新しい県立がんセンターの概要 などについて、平成25年2月2日はまぎんホール ヴィアマールにて講演会が開催されました。

先着500人。無料。主催：医療原子力技術振興財団。参加希望者全員の住所、氏名、電話番号記入し、2月1日までに申し込む。の報道（2013.01.30）が朝日新聞に掲載されていた。会場は満席でした。

先着順の事前登録が必要でしたが、1月25日に情報を得ることが出来たので、事前登録により講演会を受講したので概要を報告します。

### 講演会プログラム： 市民公開講演会 <第9回 公益財団法人医用原子力技術研究振興財団講演会> — ひとにやさしいがんの放射線治療 —

開会挨拶 公益財団法人医用原子力技術研究振興財団 理事長 平尾 泰男

来賓挨拶 神奈川県知事 黒岩 祐治

[第1部] 「がん検診と画像診断」 座長 公益財団法人がん研究会 理事 土屋 了介

「現行の肺がん検診について」 公益財団法人神奈川県予防医学協会常務理事中央診療所長 井出 研

「がんの画像診断」 公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科 放射線医学 教授 井上登美夫

[第2部] 「放射線によるがん治療」 座長 愛知県がんセンター 名誉院長 森 田 皓三

「放射線治療の現状と最近の進歩」

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 放射線腫瘍科部長 中山 優子

[第3部] 「体にやさしい重粒子線治療」

座長 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 放射線腫瘍科部長 中山 優子

「新しい神奈川県立がんセンター 平成25年11月オープン」

地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 副院長兼総合整備推進部長 赤池 信

「からだにやさしい重粒子線治療」 公益財団法人医用原子力技術研究振興財団 常務理事 辻井 博彦

閉会挨拶 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 総長 小林 理

講演時間は13:00~17:00で、予定通りの講演会であった。

それぞれの講演概要は割愛するが、新神奈川県立がんセンターと全国9施設を紹介する。

#### [新神奈川県立がんセンター]

慈しみとハーモニーにあふれた病院を目指して、平成25年11月に新しい神奈川県立がんセンターがオープンします。

- ・ 病院棟（地上7階・地下1階建て）
- ・ 管理・研究棟（地上5階建て）
- ・ 重粒子線治療施設 i-ROCK (Ion-beam Radiation Oncology Center in Kanagawa)（地上2階・地下1階建て）  
炭素線（炭素イオン）：副作用が少なく、今までの放射線治療では治りにくいがんにも効く特徴がある。  
重粒子線治療開始は、平成27年12月の予定。

新しいがんセンターの5つのポイントとして、次の5項目を挙げています。

- ①外来待ち時間を短くし、待機患者を減らす
- ②高度、最新のがん医療を進める
- ③療養環境を改善する
- ④都道府県がん診療連携拠点病院の規範となる病院を目指す
- ⑤患者に優しく質の高い医療を提供する

#### [粒子線がん治療を開始している施設名] 次の施設の他に、全国で5施設が建設中である。

- 1) 南東北がん陽子線治療センター (陽子線) 〒963-8052 福島県郡山市八山田 7-172
- 2) 群馬大学重粒子線医学センター (炭素線) 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町三丁目 39-22
- 3) 筑波大学陽子線医学利用研究センター (陽子線) 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
- 4) 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター (炭素線) 〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1
- 5) 国立がん研究センター東病院 (陽子線) 〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
- 6) 静岡県立静岡がんセンター (陽子線) 〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007
- 7) 福井県立病院陽子線がん治療センター (陽子線) 〒910-8526 福井県福井市四ツ井 2-8-1
- 8) 兵庫県立粒子線医療センター (陽子線・炭素線) 〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都 1-2-1
- 9) メディポリス医学研究財団がん粒子治療研究センター (陽子線) 〒891-0304 鹿児島県指宿市東方 5188



# 特定看護師制度化へ一歩

## 既得権巡り反発強く修正また修正

### はじめに

看護師が意志の具体的な指示なしで通常より高度な医療行為(特定行為)ができる「特定看護師」制度について、厚生労働省「チーム医療推進会議」は1月30日、29項目の行為を了承し、具体化へ向け一歩進んだ。ただ、患者の安全を確保する方策はこれからの議論で、課題は山積みだ。

### 特定看護師

特定看護師をめぐる議論は、既得権を侵されたくない日本医師会などの強い反発で、2年9か月にわたり迷走を続けてきた。

チーム医療推進会議は、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、法律家などで構成。当初は、特定行為を行えるのは、国の指定する大学院などで専門教育を受けた特定看護師のみとし、国家試験も検討された。

ところが、医師会や日本薬剤師会、日本看護協会認定の「専門看護師」養成教育を行っている大学団体などが、競合する資格ができることに強く反発。

11年11月の骨子案では、「特定看護師」という名称が消え、資格ではなく「能力を国が認証する制度」に修正された。さらに、昨年12月の協議で、「研修を国が義務づける制度」に変わり、看護経験年数は要件からなくなった。要件を緩和することで、特定看護師を特別な存在とせず、制度の骨抜き化が図られた形だ。

特定行為の数も、薬剤師など他職種の業務と重なるなどとして、当初案から大幅に減らされた。

### 既得権巡り反発

看護師の「診療の補助」の範囲があいまいで、現場では看護師が高度な医療行為を行っているケースもあることから、「独占的にできる資格を作れば、看護師が現在行っていることをできなくなり、かえって現場が混乱する。」などと日本医師会などが主張。特定看護師でなくても意志の個別指示があれば、できると修正された。

こういった修正に次ぐ修正に対し、導入を推進する日本看護協会は、まず制度創設を目指すべきだとして、妥協案を受け入れてきた。

井伊久美子専務理事は、「譲れないのは法制化と国の関与。入り口論議にこだわって制度そのものが立ち消えになることだけは避けたい」と話す。安全確保のための対策は引き続き求めていくとしている。

一方、日本医師会は、30日の会議で改めて「特定行為を法で定めるべきではない」などと主張する意見書を提出。推進派にとっては、これ以上の妥協を許さ

ずに踏みとどまれるか正念場だ。

### 了承された特定行為の例(抜粋)

- 気管カニューレ(管)の交換
- 経口・経鼻挿管の実施
- 経口・経鼻挿管チューブを抜き取る処置
- 床ずれの壊死組織をメスやピンセットで取り除く処置
- 動脈に針を刺し、血圧測定や採血の入り口を確保
- PICC(末梢静脈挿入式静脈カテーテル)の挿入
- 中心静脈カテーテルを抜き取る処置
- 腹部や胸部などの体液を排出する管を抜き取る処置
- 「一時的ペースメーカー」の操作、管理、取り去る処置
- 幹細胞移植で輸血用の点滴を調整する処置
- 胃ろう・腸ろうチューブ、胃ろうボタンの交換
- 脱水の程度の判断と点滴の実施
- 降圧剤や子宮収縮抑制剤、利尿剤などの調整
- 臨時で抗けいれん剤、抗不安薬、発熱時などの薬の投与

(2013年2月4日 読売新聞朝刊より)

### チーム医療の推進・医師の業務軽減へのアプローチ

チーム医療推進・医師の業務軽減に向けて、医療団体が積極的に活動をしている。今回の特定行為の中に、特定看護師がX線撮影やCT撮影の指示を出せる等の検討まで行われていたことがあった。

又、核医学検査・MR検査は放射線技師と検査技師等が対応できますが、お互いに独占業務にしたいと考えているようだ。放射線技師は医療被ばくに関する職種であり、医療被ばくについて国民の理解が得られないと展望が厳しい社会である。

放射線技師がもっと積極的にチーム医療推進・医師の業務軽減に向けてアプローチしていかなければ業務拡大の実現は難しい。

ある新聞の10万部発行している本の広告の中に「医療被ばくを避けよ。CT1回でも発ガンリスクあり」とありました。このような疑問を持って病院に来る患者さんが多くなっていることを絶えず考えておかなければ時代になっている。

(早瀬 武雄)



## 平成 25 年社団法人神奈川県放射線技師会

### 新春情報交換会開催される

理事 小松崎 真一

平成 25 年 新春情報交換会は平成 25 年 1 月 16 日 (水) 横浜 ホテルキャメロットジャパンで開催されました。一昨日、関東地方は大雪に見舞われ、雪も残っている寒い夜でした。しかし、会場は大きな盛り上がりの内に行なわれました。

#### 目的は

公益法人取得、技師の資質向上をスローガンに県民の医療の向上及び保健維持に寄与することのために診療放射線技師と賛助会員が情報交換の場として開催されました。

#### 全容

開会宣言に続いて神奈川県放射線技師会窪田会長の挨拶に始まり来賓祝辞、平成 24 年度叙勲受賞者、神奈川県公衆衛生協会会長・保健衛生表彰者の紹介。

神奈川県地域放射線技師連絡協議会・神奈川放友会の挨拶がありました。

新入会員紹介・お年玉抽選会・閉会宣言。

窪田会長の挨拶は社会情勢、政権問題、オリンピック等多岐に渉り、中でもリーダーシップに考えを新たにされている様子は印象的であった。

乾杯の音頭を取られた神奈川県労働衛生福祉協会、早川氏の金に纏わる話は共感できる思いでありました。

県議会議員の合原氏は技師会にお世話になっております！と恐縮されておりました。

上前副会長の閉会宣言は適当な内容であったと感じました。

参加者数は会員 58 名、賛助会員 75 名、新入会員 12 名でした。

\*\*\*\*\*

#### [最近の気になるニュース]

### トリプルパンチの健康被害

#### 「PM2.5+黄砂+花粉」の猛威

中国から重篤スモックの来襲です。

偏西風に乗ったチャイナスモックは有害物質を含む。

中国で発生した微小粒子物質 PM2.5 (Particulate Matter) は大量発生し、これが日本に飛来して、各地で大気汚染が観測されるので、国民は危惧している。

PM2.5 はぜんそく、気管支炎、肺がんを引き起こすリスクを増加させるので、健康被害が懸念されます。

春先のこれからの時季やっかいなのは、花粉の飛散に合わせて「PM2.5+黄砂」が重なり、「PM2.5+黄砂+花粉」のトリプルパンチで、アレルギーを起こす力が増大して、QOL への支障増大を期すことです。

「黄砂+花粉」はこれまでも自然現象であったとも理解されますが、PM2.5 の有害物質の混合による化学反応が加わ

#### 神奈川放友会挨拶

新年の挨拶に続き自己紹介 (小松崎)

さて、神奈川放友会では 3 つの事業目的で活動しております。①会員相互の親睦の増進と情報交換②神奈川県放射線技師会運営に対する支援③ 21 世紀の医療と福祉の向上発展に寄与する社会活動でございます。

本年度は昨年 4 月に総会を行い、その後 3 ヶ月毎にニューズレターを発行致しました。9 月、10 月はイベントを行いました。このイベントについては年々参加する方が減っております。皆様方に気軽に参加して下さいますようお願い致します。また本会による出版本発行があります。これは「食と放射線」で、安全と安心への取り組みであります。

以上の主な活動を行いました。特に「食と放射線」の発行については当会で 2 冊目となり、本会の今後に明るい希望の持てるものでありました。

会員数は 131 名で、会費は無料です。ニューズレターの購読料として年間 500 円頂いております。現在も会員募集中であります。

本年 3 月で 3 期目が終了しまして、4 月からは 4 期目に入ります。新たな活動がスタート致します。

今後とも本会をどうぞよろしくお願い致します。

以上、本会の挨拶は性格上、事後報告です。

また、政治が動いたことを認識するためにもこの様な催しにはなるべく参加したい気持ちがあります。

\*\*\*\*\*



## みんなの広場

### 青森の野生キノコの放射能汚染は

#### 東電原発事故の影響は考えにくい？

福島から 350km 離れている青森県十和田市で、野生キノコから安全基準値 100Bq/kg を超える放射性セシウムが検出されている。野生キノコは出荷停止を受けているが、基準越えによる出荷停止は他にも長野、山梨などで広範囲の 10 県に上っているという。

セシウムは 134 と 137 があり、原発事故の影響なら 1対1 の割合で検出されるが、十和田市のチチタケからは半減期 2 年のセシウムが検出されず、半減期 30 年の 137 のみが 120Bq/kg でいど検出されているという。

134 が不検出ということは原発事故以前に汚染された証拠。40 年代から 60 年代後半の旧ソ連や中国による核実験や 86 年のチェルノブイリ原発事故が影響している」と学習院大学の村松教授は解説している。北日本を中心に放射性セシウムが 100Bq/kg を超えるものが見つかったが、中には 1000Bq/kg を超えるものもあるという。

核実験などで既に汚染されているものもあるのではないかと考えられている。

### 清涼飲料飲み過ぎ 脳梗塞リスク増

#### 女性、毎日飲めば 1.8 倍に

清涼飲料水を毎日飲む女性は、脳梗塞になるリスクが、ほとんど飲まない女性より 1.8 倍高いとする調査結果を、国立がん研究センターや大阪大などがまとめた。

過度に飲むと、糖尿病になりやすく、動脈硬化が進んで、脳梗塞のリスクも高まると分析している。男性では関連は見られなかったという。

分析結果が男女で異なるには、「女性は筋肉量が少なく、代謝が悪いため、炭水化物や糖分を含む清涼飲料水の影響を受けやすいのではないかと指摘している。

女性の方々、ちょっと気になりませんか？

### 神奈川県「ラスパイレス指数」を発表

神奈川県は 2 月 8 日、2012 年 4 月 1 日時点での県内 33 市町村の職員給与の「ラスパイレス指数」を発表した。国家公務員の給与を 100 とした比較で、平均 100.6、前年に比べて 8.3% 上昇している。

藤沢市 113.4 (全国で 3 番目に高い。但し、昨年 10 月 1~4% の削減が実施されている)

川崎市:112.2 横浜市:112.0 市町村平均:110.6

県:110.4 である。

各自自治体は人員削減だけでなく、人件費削減に取り組んでいるようですが、ラスパイレス指数だけでなく様々な角度で、

### 神奈川県放射線技師会

#### 公益社団法人として認可される

かねてより神奈川県に申請していた社団法人神奈川放射線技師会が、「公益社団法人神奈川県放射線技師会」として認めるのとの連絡が 3 月 5 にあった。

2013 年 4 月 1 日より「公益社団法人神奈川県放射線技師会」となる。ますます公益的な会の活動が期待される。

#### 放友会よりお知らせ

##### ・会員の登録事項の変更

会員の住所・勤務先・News Letter 送付先等の変更がありましたら速やかに事務所までご連絡ください。

##### ・購読料納入のお願い

News Letter 購読料を年間 500 円を徴収しています。購読料の入金先は

##### 「ゆうちょ銀行口座」をお持ちの方

通帳又はカードにて ATM に直接

口座記号 10270 口座番号 87439571

を入力。振込料は無料です。

##### 「ゆうちょ銀行口座」をお持ちでない方

青色の「払込取扱票」に

口座記号 00270-6 口座番号 53977

を記入し、窓口取扱で 120 円、ATM では 80 円の振込料になります。

#### 放友会恒例

##### 東京競馬観戦ツアー 5 月 12 日に決定！

放友会恒例となりました、競馬観戦ツアー！です。

今回は、東京競馬場とし競馬観戦の日程が決まりました。

G I レース開催日！皆様奮ってご参加ください。

5 月 12 日(日) 8:30 JR 南武線府中本町集合

参加費 : 3000

参加希望の方は、放友会事務所までご連絡下さい。

連絡先 : 放友会事務所(神奈川県放射線技師会事務所)

TEL 045-681-7573

#### 【編集後記】

★ ☆ ☆ ★

いよいよ平成 25 年度となりました。本年度もニュースレターにて様々な情報をお届けしたいと思います。

会員の皆様のための「手にして良かったニュースレター」を目指して編集担当は今年度もチャレンジしていきます。

会員の皆様の投稿もぜひお待ちしております。

皆様も情報発信者になってみませんか！

原稿投稿用の編集担当 E メールアドレスはこちらです。

櫻田 晃 : [sakurada-houyu@hotmail.co.jp](mailto:sakurada-houyu@hotmail.co.jp)

小嶋昌光 : [kojima-houyu@hotmail.co.jp](mailto:kojima-houyu@hotmail.co.jp)



[ 総会と放談会の会告 ]

## 「会告Ⅰ」 平成25年度 神奈川放友会総会のお知らせ



平成25年度 神奈川放友会総会を下記の通り開催することを告示する。

平成25年 3月17日

神奈川放友会 会長 長谷川 武

- 開催日 平成25年4月6日(土) 10:40~11:10  
開催場所 桜木町ワシントン ホテル 5階 BAY SIDE(ドルフィン)  
(JR桜木町駅東口 駅前) tel 045 683 3166
- 総会議事
- 1) 開会のことば
  - 2) 会長挨拶
  - 3) 議 題
    - ① 第1号議案 平成24年度事業及び会計報告
    - ② 第2号議案 平成24年度 監査報告
    - ③ 第3号議案 平成25年度事業計画及び予算案
    - ④ その他
  - 4) 役員選出
  - 5) 閉会のことば

## 「会告Ⅱ」 平成25年度神奈川放友会「放談会」開催のお知らせ

平成25年度神奈川放友会放談会を、総会開催時の第2部企画として、同日開催いたします。  
気楽に集まり「過去・現在・未来」を語りましょう。

万障お繰り合わせの上、是非ご参加を下さるようご案内いたします。

神奈川放友会 会長 長谷川 武

実行委員長 橋口 邦紘 / 実行委員 村松 康久

開催日 平成25年4月6日(土) 開催時間 : 11:10~14:30

開催場所 桜木町ワシントン ホテル 5階 BAY SIDE(ドルフィン)  
(JR桜木町駅東口 駅前 : tel 045 683 3166)

テーマ 「神奈川放友会の活動を考える」 “気楽にみんなで語り合おう”

記念講演 「医療界の話題について」 JIRA 経済部会部会長 野口雄司(予定)

時間を拡大しました 愉しく寛ぎながら 絆を生む至福のひとときを創作しましょう

司会 : 副会長 橋口 邦紘 ・ 理事 早瀬 武雄

参加費 3000円(放談会:会食費)

\* 昼食を兼ねての放談会ですので、多数の参加をお待ちしております。

お知らせ

平成25年度神奈川放友会総会・平成25年度神奈川放友会「放談会」を上記要領で開催いたします。

本年度も昨年度同様、またそれ以上に充実した放友会を皆様とともに歩んでまいりたいと思います。

放談会は会員でなくてもどなたでも参加可能です、皆様お誘い合わせのうえご参加ください。楽しいお酒を飲みましょう。